

単純な視覚探索を、本人に無理のない一定時間で行います。

氏名：				実施日：				実施場面：			
やり方：「○」に印をつけます。必要に応じて 60 秒で区切り、どこまで進んだかを記録します。速さを競う課題ではありません。											
○	△	□	○	◇	△	○	□	△	○	◇	□
△	○	◇	□	○	△	□	◇	○	△	○	□
□	◇	○	△	□	○	◇	△	○	□	△	○
○	□	△	◇	△	○	□	○	◇	△	□	○
◇	△	□	○	○	◇	△	□	○	△	◇	○
△	○	□	◇	○	△	○	□	◇	○	△	□
○	◇	△	□	○	△	◇	○	□	△	○	◇

実施時間： 秒 / 到達位置： _____

実施者メモ（誤り方・手がかかり・中断・疲労など）

対応表を見ながら、記号に決められた数字を書く課題です。

氏名：	実施日：	実施場面：
-----	------	-------

やり方：上の対応表を見ながら、下の記号に対応する数字を書きます。必要に応じて90秒で区切ります。

○ → 1			△ → 2			□ → 3			◇ → 4		
○	△	□	◇	△	○	◇	□	○	□	△	◇
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
△	◇	○	□	◇	△	□	○	△	○	◇	□
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
□	○	△	◇	○	□	◇	△	○	△	□	◇
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
◇	△	□	○	△	◇	○	□	◇	○	△	□
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
○	□	◇	△	□	○	△	◇	○	◇	□	△
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

実施時間： 秒 / 完了数： _____

実施者メモ（誤り方・手がかり・中断・疲労など）

条件を判断しながら処理する課題です。速度と正確性のバランスを観察します。

氏名：				実施日：				実施場面：			
やり方： 「○と△には印をつける」「□と◇には印をつけない」のルールで進めます。必要に応じて90秒で区切ります。											
○	△	□	◇	○	□	△	◇	△	○	□	◇
△	○	◇	□	△	◇	○	□	○	△	◇	□
□	○	△	◇	○	□	◇	△	○	△	□	◇
◇	△	□	○	△	◇	○	□	◇	○	△	□
○	□	◇	△	□	○	△	◇	○	◇	□	△
△	◇	○	□	○	△	□	◇	△	○	◇	□

実施時間： 秒 / 到達位置： _____

実施者メモ（誤り方・手がかかり・中断・疲労など）

このページは実施者向けです。紙面上の成績ではなく、反応と生活場面とのつながりを記録します。

位置づけ

本教材は rehabilikunblog が作成した非標準化の練習教材です。診断、重症度判定、カットオフ判定には使用しません。L1～L3 は本教材内の課題条件を整理するための区分で、すべての対象者で一律の難易度序列になることを保証しません。

この教材で見たいこと

視覚探索・注意・理解・書字や運動速度などの影響を受ける「課題遂行ペース」を観察します。規準値やカットオフは設定せず、同一対象者内で条件をそろえた比較に限定します。

L1～L3 で変えている条件

確認項目	内容
L1	単一刺激の探索量を見る
L2	対応表を参照しながら処理する
L3	判断ルールを保持しながら処理する

観察する反応

☐ 開始までの時間	☐ 処理量
☐ 誤反応	☐ 見直し
☐ 後半の速度低下	☐ 処理量と正確性のバランス

生活行為へつなぐ例

- ・更衣・整容の所要時間
- ・配膳や物品準備
- ・書類・予定表から必要情報を探す
- ・時間制約のある IADL の負担感

実施・記録上の注意

- ・時間制限は本人の不安を高めない範囲で使い、他者との速さ比較には使用しない
- ・経時比較では実施時間・用紙・筆記具・提示方法・手がかり条件をそろえる
- ・運動麻痺、書字困難、視覚障害の影響を分けて考える。書字が難しい場合は口頭回答・指差し・実施者代筆へ変更可。回答方法を記録し、経時比較では同じ方法をそろえる

最低限の記録

課題名・レベル／実施条件／誤り方／手がかりの種類と回数／中断・疲労／生活場面で確認したいこと

参考文献（本教材そのものの妥当性・有効性を示すものではありません）

日本作業療法士協会. 作業療法ガイドライン—認知症 増補版. 2025.

Kudlicka A, Martyr A, Bahar-Fuchs A, Sabates J, Woods B, Clare L. Cognitive rehabilitation for people with mild to moderate dementia. Cochrane Database Syst Rev. 2023;6(6):CD013388. doi:10.1002/14651858.CD013388.pub2.